
絶対に笑ってはいけない学園24時間

アクロス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絶対に笑ってはいけない学園24時間

【Nコード】

N3061Z

【作者名】

アクロス

【あらすじ】

絶対笑ってはいけない学園24時間！！スタート！！

プロローグ（前書き）

『絶対に笑ってはいけない学園24時間』スタート！！

プロローグ

「???」あれ？手紙？」

偶然、郵便受けに手紙が入ってあった……。

ある人物はそれを取り……手紙を読んだ……。

「???」え〜つと……!!」

彼はあまりにも衝撃的なりアクションをした……!

何故なら……

「???」につ……兄さあ〜ん!!」

「???」どうしたんだ？ルイージ？」

「???」ルイージ」これを……!!これを見てよ!!」

「????」手紙くらいで驚くなよ・・・っ!!これは!？」

「

マリオブラザーズへ

何だかもうすぐお正月みたいだから、

他の作者さん達が『絶対に笑ってはいけない』を連載してえ
く(kさんとか。)、

あつ、俺も乗り遅れちゃ駄目だ!っと思って、俺も連載しようとしてるんだ

『絶対に笑ってはいけない24時間』を・・・!

だから来いよアホ共 待ってくれなきゃ「お前等の存在消すよ・・・。」

・・・と言う訳だから、スマッシュアップのせが大乱闘館で待ってるよ。

p.s

お前等、「3DSランド」とか「マリカ7」が出たからって
調子乗るなよ、殺すぞ馬鹿。

アクロスより。

「

ビリビリリッ!!

マリオはそれを破りゴミ箱へ捨てた。

マリオ「誰が行くかよ馬鹿が!!」

ルイージ「兄さん落ち着いて!!」

マリオ「あんなに罵とられて誰が行くかつーの!!」

ルイージ「でも・・・行かないと殺すって言ってたし・・・。」

マリオ「ほっとけほっとけ!そんなの!」

ドドドドドドドドドド

ルイージ「ん?兄さん・・・?何か音が聞こえていない・・・?」

アクロス「んな訳あるかい！」

バシイ！

アクロスがルイージを叩いた。

ルイージ「いてっ！」

アクロス「兎に角、マスターハンド軍手とクレイジーが呼びしてんだよ！至急大乱闘館へ着いて来い！」

マリオ「へいへい……。 (何で俺がこんな事しなきゃいけないんだ?)」

ルイージ「分かったよ……。 (しょうがないよ、アクロスを怒らせたら一溜まりもないから……。)」

アクロス「何かあったか？」

マリオ、ルイージ「いえ！何も！」

アクロス「それじゃ、大乱闘館へレッツゴー！」

マリオ「（嫌な予感……。）」

ルイーダ「（僕も……。）」

果たして、大乱闘館に何が！？

プロローグ（後書き）

マスターハンド
軍手「マリオ達まだかなあ〜・・・っつーか軍手と書いてマスター
ハンドって読むの止めてくれない!？」

クレイジー「良いじゃないか、兄貴^{くんて}。」

マスターハンド
軍手「兄貴と書いてぐんてって呼ぶなよ!泣くぞ!」

キャラ紹介（前書き）

笑ってはいけない学園編のキャラ紹介です。

マリオ「ああゝ・・・嫌だなゝ・・・。」

ルイージ「本当だね。」

アクロス「グズグズするな！もうすぐ着くぞ！」

マリオ「本当か？」

ルイージ「あつ、本当らしいよ・・・。」

ギー・・・。

アクロスが大乱闘館の扉を開いた・・・。

マリオ「おっ！いろいろ久しぶりな奴等がいるなあゝ！」

ルイージ「誰がいるんだろっ?」

アクロス「詳しくは だ!」

キャラ紹介

スマブラ+ (20)

マリオ

ルイージ

ピーチ

クッパ

ドンキー

デイデュー

ヨッシー

フォックス

ソニック

スネーク

リユカ

ネス

ガノンドロフ

ゼルダ

リンク

サ姆斯

ウルフ

ファルコ

キャプテン・ファルコン

デイジー

プリキュア(5)

北条響

南野奏

黒川エレン

調辺アコ

花咲つぼみ

国民的アニメ(5)

ラフィーナ

シゲ

マリオ「以下の35人かあゝ・・・。」

キャラ紹介（後書き）

ルイーダ「デイジーも来てたの!？」

デイジー「そうなのよ、スマブラでもないのに呼ばれちゃって・・・」。

マリオ「プリキュアに国民的アニメ、おっ!それにぶよぶよもいるぞ!」

ドラえもん「マリオ、久しぶりだね!」

アルル「元気にしてた?」

つぼみ「何でハートキャッチ組の私が・・・。」

アコ「ついでだからじゃないの?」

つぼみ「・・・!!」 ガーン!!

響「アコ!余計な事言わないの!」

アコ「ふんっ！」

つぼみ「……………」

マリオ「まあ、とりあえずみんな参加して良かったじゃないか！」

???「ハッハッハッハッハッ！」

マリオ「^{マスター}軍手だろ？」

マスターハンド、扱ける。

マスターハンド「誰が軍手だ!!!!どうせなら手袋と欲しい!!」

マリオ「分かった、^{マスター}糞手袋。」

マスターハンド「糞手袋言っな!!!!それでは、今回の課題を発表する!!」

マリオ「今回の課題・・・？」

マスターハンド「そうだ！その課題とは・・・！」

マスター、アクロス以外「その課題とは・・・？」

マスター「続きは次回で！」
ウエフ

マリオ「マリオファイナル!!!」

マスター「ぎゃあああああ!!!」

アクロス「やれやれだな。」

クレイジー、ルイージ「ねエ〜。」

つー訳で本当に次回です。

「マリオ」本当なのかよー!!」

課題

マスター「今回の課題は・・・。」

全員（マスター、クレイジー、アクロス以外）「今回の課題は・・・？」

マスター「ズ」『絶対に笑ってはいけない学園』だああああ!!」

マスターを押し切り、アクロスが代わりに喋った。

全員「!?!?何イイ!?!」

マスター「ちょっと、私を押しつけるな！」

アクロス「説明は簡単だ！」

マスター「無視すんなよ！」

アクロス「良いか、お前達はある学園で、大人組は教師！子供組は生徒として参加してもらう！」

参加者全員「はあ？」

アクロス「つまり、お前達の設定は、18歳未満の子供は留学生として、大人組は新米担任として1週間学園生活を過ごして貰う！ただし……。」

参加者「ただし……？」

アクロス「2日目、4日目、6日目の夜にはイベントをやるぞ！さらに、ケツバット、タイキックなどのお仕置きを受けた回数や、イベント時の被害にあった回数の合計で、2日目、4日目、6日目で失格者を出す！」

マリオ「ええっ!?!」

ルイーダ「失格とかあるの!?!」

のび犬「そんなの聞いていないよ!」

アクロス「うるさい、兎に角、その脱落した計30人には恐ろしいお仕置きが待っているから気をつける!ちなみに2日目、4日目で失格になった奴は笑ってはいけないが終わるまで牢獄で過ごしてもらっ!」

参加者全員「何だっ!?!」

アクロス「ちなみに6日目は最終日で帰るからお仕置きは無いが、その代わり、2日目、4日目よりも最悪なお仕置きを用意してるから待ってるよ!」

まる子「うわぁ、こりゃ怖いよ……。」

まる子、怯えだす。

ピーチ「別に気にするほどでもないわ、最後まで生き残った5人にはどうするの？」

アクロス「願いを3つ叶えて上げよう！」

参加者全員「何だって!？」

参加者達の目が光る。

マリオ「よっしゃあ!そうと決まれば絶対に生き残ってやる!！」

響「絶対に生き残ってカップケーキ食べるんだから！」

マスター「ちよつと待て!そんな願いは「ギロリッ」しっ……します……。」

参加者達がマスターハンドを睨んだ。

アクロス「それでは、早速バスヘレッツゴー！」

参加者全員「オー！」

アクロス「オーイ！バス、こっちへ来い！」

参加者全員「へ？」

ドンガラガツシヤアアアアン！！！！

参加者全員「ぎゃああああ！！！」

何と、バスがいきなり大乱闘館へ突っ込んできた！！

マスター「ギヤアアアア！！！！私が作った大乱闘館がアアアアッ
！！！」

マリオ「ハハハハハッ！！ウけるッ！WWW」

デデーン マリオ アウト！

マリオ「ちょ、いきなり始まってぎゃふん！！」 バーン！！

アクロス「さあ！もうゲームは始まっているんだぞ！とつとと乗らんかい！このすつとこどつこいが！..！」

アミティ（何かムカつくなあ〜。（怒））

りんご（アミティ、抑えて抑えて！）

アミティとりんごが小声で話している・・・。

アクロス「何か言ったか（黒）!?!」

アミティ、りんご「言ってますん言ってますん！」

アクロス「そうか・・・じゃあレッツラゴーだ!!..！」

参加者全員（こいつとバスだなんて嫌だなあ〜・・・。）

マスター、クレイジー「行ってらっしゃい！」

課題（後書き）

次回、バス内の出来事です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3061z/>

絶対に笑ってはいけない学園24時間

2011年12月11日16時52分発行